

JAが地域の農業振興や暮らしやすい地域づくりに貢献していくため、組合員の皆さまのご意見を聞かせてください。



JA加美よつばは 組合員の皆さまの声 をもっと大切に していきます!!

ご協力の
お願い



私たちは、協同して自らの農業経営や地域の農業振興、暮らしやすい地域づくりを実現していくJAの目的に賛同する農家と地域住民の集まりによる、協同組合です。

協同組合であるJAで最も大切なことは、組合員の範囲や事業の内容など大事なことは組合員が決めるということです。

JA加美よつばでは、地域の農業振興や暮らしやすい地域づくりに向けて、組合員の皆さまの声をもっと大切にしていきます。

つきましては、集落訪問の機会を通じ、組合員の皆さまのご意見を伺ったり、アンケートを実施したいと考えておりますので、ご多忙のことと存じますが、ご協力いただきたくお願い申し上げます。

平成31年1月

 JA加美よつば

1

JAは総合事業です 組合員の農業経営と 暮らしをサポートする JA加美よつばの事業のご紹介

JAは、協同組合として、組合員の皆さまの農業とくらしのニーズに対応した様々なサービスを提供する「総合事業」を展開しています。具体的には、右の図のような事業があります。

「総合事業」は組合員にとって、ワンストップで便利で多彩なサービスを受けられるメリットがあります。農家組合員の農業経営はもちろんのこと、全組合員の暮らしをサポートすることもJAの大切な目的であり、その観点から「総合事業」に力を入れています。

JA加美よつばでは、毎月、集落訪問で全組合員の皆さまのお宅を職員が訪問し、色々なご相談やご意見をお伺いしております。組合員の皆さまにとって更に良いサービスを提供するため、アンケート調査をさせていただきますので、ご協力をお願いします。

率直なご意見をお聞かせください。

組合員の皆さまのご意見をお聞かせください

●職員がご自宅を訪問し、アンケートのお願いを致します。

ご協力をお願い致します。

※アンケートの中のバーコードは
JAの番号で個人を特定するものではありません。



JAの総合事業のご紹介

【信用】



農機具や倉庫の購入資金、住宅ローンなど、資金面でサポート。

【指導】



組合員の農業技術や農業経営の改善・向上を指導することで、地域農業の維持・発展に貢献。

【生活】



女性部活動などを通じての仲間づくりや組合員や地域住民の健康の維持・増進に貢献。ご葬儀など一生のお手伝い。

【利用】



収穫物を貯蔵・選別・出荷するための施設など、個人所有が難しい施設や設備を共同で利用。

JA本店・支店



【共済】



「ひと・いえ・くるまの総合保障」で、くらしの安心をサポート。

【購買】



農業資材から日用品まで、組合員による共同購入で、質の良い製品を安価に供給。

【販売】



農家が生産した農畜産物をJAが集荷し、市場、小売店などを通じて消費者に販売。農家の安定収入を確保。

【新聞情報】 【旅行】

組合員の豊かなくらしづくりを応援するとともに、消費者や次世代へ農業や農村に対する理解を拡大。

コラム

信用事業等の譲渡について

政府の諮問会議において、JAが農業者のための農畜産物販売や生産資材購買に専念できるように、「JAバンク」として提供している金融サービス（信用事業）を譲渡し、「総合事業」を止めるべきだとの意見が出された経過があります。

JAが農林中央金庫へ信用事業を譲渡し、自らは代理店等として金融サービスを提供できる仕組みは、法令上すでに整備されており、**信用事業譲**

渡はそれぞれのJAの選択制となっています。

協同組合であるJAの事業のあり方は、組合員の皆さまが民主的に決定すべきことです。法改正などによって事業分離を強制され、組合員の皆さまが意に反する不利益を被ることがないように、「総合事業」を通じた取り組みを実践してまいります。

2

JA加美よつばの自己改革①

地域の農業振興に向けた 農家組合員皆さまへの 農業経営サポートの取り組み

JA加美よつばでは、「おら家のJA加美よつば」をキャッチフレーズに、農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化を柱とする「自己改革」に取り組んでいます。

農業者の所得増大、農業生産の拡大について、具体的には、右の図にあるような担い手経営体のニーズに応える個別対応や、米に加わる品目の強化と販売ルートの多様化による農家所得増大、集落営農組合を中心とした予約購買による生産資材の価格引き下げに取り組んでいます。

JA加美よつばは、今後さらに地域の農業振興に貢献できるよう、農家組合員の皆さまへの農業経営サポートに取り組んでまいります。

JA加美よつばの地域の農業振興に向けた取り組みについて、組合員の皆さまから見て頑張っていると感じていただいていることや、もっと力をいれてほしい取り組みなどについて、率直なご意見をお聞かせください。

これからもずっと

組合員の皆さまの所得向上と
地域農業の維持に力を注いでいます。



地域の農業振興に向けた取組事例

① 価格対策の整備と 銘柄集約による低価格資材の提供

生産資材の価格対策の整備（肥料・農薬大口取扱奨励、肥料早期引取り奨励、農薬重点品目奨励、集落営農組合育成奨励など

→最大で7%）

全農と連携し、国産一流メーカー製造の安くて品質の良い肥料「化成肥料オール14」の販売。

生産費低減のための大型規格商品の取扱。



② 生産基盤の拡充と生産量拡大

- 販売推進活動の強化
- 多収穫米や密苗など新品種や技術の提案
- 加工用野菜の生産拡大と契約栽培
- 各種事業を活用した生産条件の整備
- 畜産の生産基盤の拡充（労力軽減対策の支援）



③ 低価格農機具の提案と安心のサービス

生産者の声を反映し開発されたJAグループの「低価格協同購入トラクター」や、コンバインのシェアリース事業の導入サポートなどコスト低減に向けた提案を行っています。

また、安全・安心にご利用いただくため職員の技術向上に努めています。



④ 事業間の連携で経営支援

農業法人や担い手など大規模経営の経営相談や農業融資などを部門連携で支援しています。

金融や営農指導など専門知識を持った職員が法人などを訪問し、多様な資金ニーズに対応します。



3

JA加美よつばの自己改革②

地域の活性化と 暮らしやすい地域づくりに 向けた取り組み

JA加美よつばでは、地域の活性化と、皆さまが暮らしやすい地域づくりに向けた取り組みをすすめています。

具体的には、右の図にあるような、支店を核とした地域活性化の活動や環境美化の取り組み、次世代対策としての農業体験の指導・受入れや婚活活動の支援などを実施しています。また、JA加美よつばでは、農業者でなくても、地域に住み、JAの事業を利用することを望む場合、出資をすれば組合員になることができます。こうした地域のなかの農業者以外の組合員の皆さまを、「准組合員」と称しています。

JA加美よつばは、准組合員の皆さまを含めた全ての組合員の皆さまにとってなくてはならない生活インフラとして、今後とも役割を果たしてまいります。

つきましては、JA加美よつばの地域の活性化に向けた取り組みについて、組合員の皆さまから見て、頑張っていると感じていただいていることや、もっと力をいれてほしい取り組みなどについて、率直なご意見をお聞かせください。

農業だけではない、地域と共に歩むJA加美よつば

- 地域の活性化に取り組んでいます。
- 食農教育、子供たちへの支援を行っています。
- 農家の方以外でもご利用できます。



地域の活性化と暮らしやすい地域づくりに向けた取組事例

① 食農教育、農業体験への取り組み

管内の保育園、幼稚園、小中学生をはじめ、県内の児童も対象に、田植えや稲刈りなどの農業体験を実施しています。平成29年度には地域の集落と連携して「JA加美よつばあぐりスクール」を開講しました。

平成29年度参加者 641名(延べ人数)



② スポ少野球大会、パークゴルフ大会の開催

県内JAに先駆けて平成16年からスポーツ少年野球大会を開催し、次の世代の子供たちの活動を支援しています。また、パークゴルフ大会の開催や、年金友の会の活動など地域の方が参加できる活動も行っています。



③ 支店を核とした地域活性化の取り組み

地域の特色を活かし支店を核として地域を共に元気にしようと、クッキング教室や鍋まつりなどを開催しています。また、全職員が認知症サポーターの資格を取得し、高齢者見守り活動や地域の清掃・雪掻きを行う環境美化活動も行っています。



④ 年金無料相談会や女性大学の開催

組合員の皆さまの年金に関する疑問を解決するため、社会保険労務士による無料の相談会を開催しています。また、地域の女性リーダーを育成する女性大学も開講。伝承料理やアロマ体験などで自分磨きを行っています。



コラム

准組合員制度について

政府は、JAが農業者の協同組合であることから、「准組合員の事業利用について、正組合員の事業利用等の関係で、そのあり方を検討する」としています。

現在、地域住民の皆さまにも准組合員になっていただき、JAの事業をご利用いただいています。事業の効率化やコスト低減につながるとともに、

JAの経営が安定し、農業関連事業の実施や地域に必要な生活サービスの維持が可能となるなど、**准組合員の皆さまのご利用は、正組合員の皆さまにとってもメリットがあります。**

引き続き、正組合員と准組合員とで、JAの事業を通じて地域の農業とくらしを支えあうJAづくりに努めてまいります。

4

組合員アンケートのお願い

組合員の皆さまより ご意見をお伺いする 取り組み



JA加美よつばでは、現在取り組んでいる自己改革に対する組合員の皆さまの評価をお伺いして、より一層、皆さまの期待に応え、魅力ある地域の農業振興や暮らしやすい地域づくりに取り組むJAとなれるよう、全ての組合員の皆さまを対象としたアンケート調査を実施します。

なお、政府は、平成33年3月まで自己改革の実施状況等を調査することとしており、改革の進展状況によっては、JA事業の分割や准組合員のJA事業利用の規制などが検討されることが想定されます。

組合員の皆さまからいただいた評価が、今後、政府が行う准組合員のJA事業利用規制のあり方などの検討に向けても重要となります。

つきましては、今回の説明をふまえ、アンケート調査に対し組合員の皆さまのご協力をお願い申し上げます。

今後の予定

平成31年

- | | |
|-----|---------------|
| 1月～ | 組合員の皆さまへの全戸訪問 |
| 2月 | 営農座談会 |
| 6月 | 総代会にかかる集落座談会 |
| 6月 | 総代会 |
| 9月 | 集落座談会 |



加美よつば農業協同組合

本店 TEL: 66-1222

色麻支店 TEL: 65-2221 中新田支店 TEL: 63-4925 宮崎支店 TEL: 69-6111 小野田支店 TEL: 67-3111